

謝辞

信州大学教育学部から筑波大学大学院心理学研究科に入学して、早いもので5年になる。この5年間、山あり谷ありの、様々な経験をした研究生活であった。5年間で博士論文を書き上げるという大きな仕事は、多くの人達のサポートなくしては、成し得なかったことである。この紙面を借りて、サポートを頂いた皆様に、感謝の意を述べさせて頂きたいと思う。

筑波大学心理学系の新井邦二郎先生には、研究の構想段階から、論文の提出に至るまで、数多くの貴重なご助言と暖かいサポートを頂きました。先生には心より感謝申し上げます。

筑波大学心理学系の桜井茂男先生には、並々ならぬご指導とサポートを頂きました。研究を進めていくにあたり、数多くの貴重なご助言を頂いたのみならず、研究の構想や論文の執筆などにおいて迷っている私を、辛抱強く見守って下さいました。先生に、心から感謝申し上げます。

東京成徳大学の杉原一昭先生、筑波大学心理学系の服部環先生、筑波大学体育学系の坂入洋右先生、筑波大学心理学系の濱口和佳先生には、研究会や論文審査において貴重なアドバイスを頂きました。誠に有り難うございました。

信州大学の川島一夫先生には、筑波大学心理学研究科への入学から博士論文の執筆に至るまで、数多くのサポートを頂きました。深く感謝申し上げます。

そして、お忙しい中、調査に快くご協力頂いた中学校の校長先生、担任の先生、生徒のみなさんに、厚くお礼申し上げます。校長先生や担任

の先生には、中学生に関する現場からの貴重なご意見も頂きました。誠に有り難うございました。

筑波大学心理学研究科の同僚である、鈴木公基さん、外山美樹さん、本多潤子さん、下山晃司さん、新川貴紀さんには、研究に関する有益なアドバイスを頂き、また、プライベート面でもいろいろとお世話になりました。有り難うございました。特に、同学年の本多潤子さんには、いろいろとサポートを頂きました。大変有り難うございました。そして、同研究科の宇井美代子さん、佐藤寛さんには、論文について貴重なコメントを頂きました。ありがとうございました。

また、筑波大学人間学類の大野恵理さん、柳沢亜矢さんには、研究6の計画・実施・データの入力などにおいて、いろいろと手伝ってもらいました。同じく人間学類の青柳美穂さんには、論文の校正を手伝ってもらいました。3人に、感謝の意を表したいと思います。

最後に、実家の父と母は、どんな時でも、私を暖かく支えてくれました。父と母に、心から、感謝いたします。有り難うございました。

黒田 祐 二